

平成16年(2004年)新潟県中越地震の余震発生確率
(12月13日13時現在での推定)

・ M5以上の余震の発生する確率

(3日間以内)

12月13日16時から 3日間以内	10%
12月16日16時から 3日間以内	10%未満

(7日間以内)

12月13日16時から 7日間以内	20%
12月16日16時から 7日間以内	20%
12月19日16時から 7日間以内	20%

(M5: ところによって震度5弱程度になると予想される)*

* 震源直上や地盤の悪いところではこれよりも震度が大きくなる可能性があります。

12月16日16時から3日間以内にM5以上の余震の発生する確率が10%未満となりましたので、今回の発表をもって、平成16年(2004年)新潟県中越地震の余震発生確率のHPの更新を終了します。

余震活動は引き続き減衰傾向にあり、M5クラスの余震(ところによって震度5弱或いは5強となる)の発生の可能性は低くなってきています。なお、震度1以上の余震の回数は、12月中旬では1日あたり1~2回程度ですが、今後徐々に少なくなるものと思われれます。

余震確率の値(%)について

余震確率を計算するためには発生した地震の特徴を知る必要があります。余震発生数は時間の経過とともに減少する、大きな地震は少なく小さな地震は多い、という余震発生の特徴を用いて、実際の地震活動をモデルに当てはめて、大き目の余震の発生確率を推定します。

3日間以内と7日間以内の数値の意味

期間を長くとるにしたがって、地震の発生する確率は高くなります。たとえば、期間を非常に短く、たとえば1分以内とすれば地震が発生する可能性はほとんどありませんが、1時間、24時間、3日間、7日間というように期間を長くするにしたがって、通常、その期間に地震が発生する可能性が高くなります。数日程度までとれば相当の発生確率があることを理解していただくために、3日間以内の発生確率と、7日間以内の発生確率をあわせて発表します。